

「自家培養軟骨移植術」の認知度向上に向けて 膝の再生医療情報サイト「再生医療ナビ」にドクターと患者の対談を掲載

2018年2月1日

株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング

富士フイルムグループの株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング(本社:愛知県蒲郡市、代表取締役:畠賢一郎)は、整形外科領域における新しい治療法「自家培養軟骨移植術」¹の認知度向上に向けて、本日、膝の再生医療情報サイト「再生医療ナビ」²に、本移植術に関するドクターと患者の対談を掲載しました。

今回の対談者は、本移植術を実施した独立行政法人国立病院機構 甲府病院 スポーツ・膝疾患治療センターの落合聡司センター長と、2017年2月に手術を受けたアスリート高校生の植松佑介さんです。

「『自家培養軟骨移植術』に関するドクターと患者の対談」サイト URL:
<http://saisei-navi.com/hiza/talk-interview/>



甲府病院 スポーツ・膝疾患治療センターは、膝の治療を専門とし、アスリートだけでなく一般の方々への治療やアドバイスを行っています。

今回、当社は、「再生医療ナビ」に自家培養軟骨移植術を実施した甲府病院 スポーツ・膝疾患治療センターの落合聡司センター長と、手術を受けた植松佑介さんの対談を掲載しました。対談では、実際の治療の体験談(ケガの状況、治療内容、術後の経過)を交えながら、膝の痛みで悩んでいる方へのアドバイスなどを、分かりやすく説明しています。

当社は、今後も、自家培養軟骨移植術の普及を目指すとともに、再生医療の発展に取り組んでいきます。



1 患者自身の軟骨細胞を少量採取し、培養して作った「自家培養軟骨」を、欠損部位に移植する治療法。現在は、膝関節における外傷性軟骨欠損症又は離断性骨軟骨炎(変形性膝関節症は除く)の患者を対象として、2013年4月から保険適用となっています。自家培養軟骨移植術を実施できる病院は限定されています。医療機関(使用届出施設)一覧はこちら: http://www.jppte.co.jp/JACC_institutions.html

2 自家培養軟骨移植術に関するQ&Aや、スポーツ愛好家に起こりやすいさまざまな膝の怪我、新しい治療法として注目されている再生医療等について分かりやすく解説するサイトです。
<http://saisei-navi.com/hiza/>

ひざの再生医療のことなら
再生医療ナビ

以上

< 本件に関するお問い合わせ先 >

株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング
 経営管理本部 経営企画部 TEL 0533-66-2020